

犯罪被害者等確認書

- ① 犯罪により収入が減少し生計維持が困難となった者
- ② 現在居住している住宅又はその付近において犯罪等が行われたことにより、当該住宅に引き続き居住することが困難となった者
- イ) 犯罪により住宅が滅失又は著しく損壊したために居住することができなくなった者（例：放火）
- ロ) 住宅を客体とする犯罪により居住することができなくなった者（例：詐欺）
- ハ) 犯罪により精神的な後遺症が生じ医学的に居住することができなくなった者（例：PTSD）
- ニ) ストーカー行為等の規制等に関する法律第2条第4項に規定するストーカー行為により居住することができなくなった者又は同条第1項に規定するつきまとい等若しくは同条第3項に規定する位置情報無承諾取得等により、身体の安全、住居等の平穏若しくは名誉が害され、若しくは行動の自由が著しく害される不安を覚えさせる行為により居住することができなくなった者

申込者は、上記（ ① または ②イ，ロ，ハ，ニ ） ※いずれかに○

に該当するため、以下の内容を申告するとともに、その内容について、市長が警察当局へ確認を行うこと及び必要に応じて警察又は検察当局に事件の処理状況を確認することについて同意します。

【被害届等を行った警察署名】 _____

【被害届番号（任意）】 _____

【被害者氏名】 _____

【被害者住所】 _____

【被害の年月日時】 _____ 年 月 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分

【被害場所】 _____

【被害内容】 _____

以上の内容に嘘偽りはございません。

市川市長 様

令和 年 月 日

氏名 _____